オーディオ実験室収載

アナログアキュライザーの導入(21)
－適用箇所の検討(17)－

１． 始めに

前報(20)に引き続き、ディジタル再生に戻って適用箇所の検討を行います。

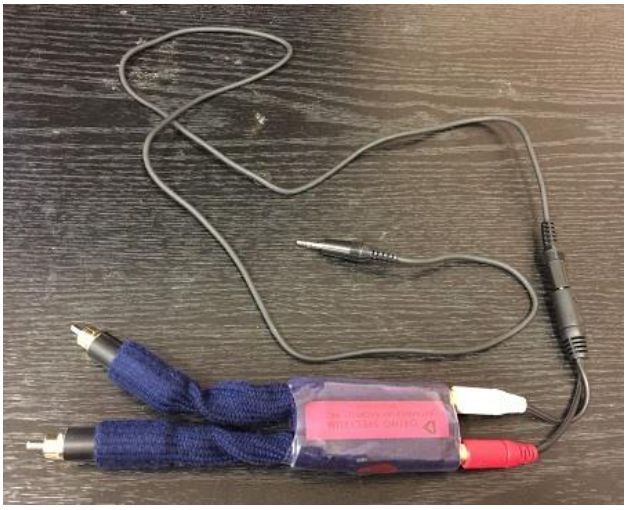
２． アナログアキュライザーの試聴方法

前報(18)では、CEC ポータブルプレイヤーPDA-655 での CD 再生においてステレオ誌付録のディジタルアンプ LXA-OT1 に、また、前報(19)では、TV の光出力再生において光/同軸変換後に DAC-1 に、それぞれアナログアキュライザーを装着して再生して効果を確認しました。

今回は、iPad や iPhone のイヤフォン出力に使用してみます。

再生経路は、次のとおりで、アナログアキュライザーは P&G の入力端子に装着します。

iPad/iPhone→ミニジャック/RCA 変換ケーブル→AACU-1000→P&G フェーダー→300B シングルアンプ



音源は、iPad/iPhone 収納音源の再生の他、Spotify や Amazon Music や PrimeSeat のストリーミング再生です。

３．アナログアキュライザーの試聴結果

写真は iPad の例ですが、iPhone でも同様に再生可能です。

Pad/iPhone のイヤフォン出力ですから、本格的なオーディオ装置に入力しても、たいしたことはないだろうと予想していましたが、音質は元音源のクオリティに左右されるところはありますが、元音源のクオリティさえ良ければ、上記の再生経路でスピーカーから音を出しても、十分鑑賞に堪えるレベルに達していることが分りました。

４．まとめ

Pad/iPhone の収納音源の再生の他、Spotify や Amazon Music や PrimeSeat のストリーミング再生でミニジャック/RCA 変換ケーブルを使用することにより AACU-1000 を装着する効果を認めました。

以上